

デジタルサイネージ研究会 フォーラム

～1980年代生まれの5人の若手建築家が考えるデジタルサイネージの空間表現～

近頃、街のあちこちに増えているデジタルサイネージ。

デジタルサイネージが単なる表示媒体としてではなく、空間と融合するとどうなるのか？

AGC旭硝子のガラスサイネージ製品「inforverre®(インフォベール)」と「Glascene®(グラシーン)」を用いた空間表現を、5人の若手建築家が提案します。

■日 時：11月11日(水) (参加費無料)

17:30～20:00 (17:00受付開始)

※プレゼンテーション終了後、懇親会を予定しております。

■主 催：旭硝子株式会社／AGC studio

■企 画：中崎 隆司 (建築ジャーナリスト)

■会 場：AGC studio

■申込方法：お名前、会社名、メールアドレスをご記入の上、

agc.signage@agc.com宛てにメールをお送りください。(先着50名)

テーマとプレゼンター

「Digitalized Window」

都市のインターフェイスとしての機能をもつ表層は屋外広告に代表されるように情報を発信するインフラになっている。しかし、市場原理主義的に看板に覆われた建築は都市に対して閉鎖しているともいえる。ガラス面に看板等を設置せず、屋は日光を室内に取り入れる機能を保ち、夜になるとガラス面に情報を映像で発信する。建築そのものの機能を保ちながら、都市に対する可変的なメディアとして建築が変容し、都市に賑わいや経済を生む。



浜田 晶則 (はまだ あきのり)

1984年富山県生まれ 首都大学東京建築都市コース卒業
東京大学大学院修士課程修了
2012年 Alex Knezoとstudio_01設立
2014年浜田晶則建築設計事務所代表
teamLab Architects Partner

「鏡の中のもう一つの世界 -デジタルサイネージによる新しい「鏡」の提案-」

デジタルサイネージを利用したインタラクティブに変化する鏡の提案。デジタルサイネージによる映像と鏡に映った鏡像を重ね合わせ、鏡の中に見た事のない新しい世界をつくる。



萬代 基介 (まんだい もとすけ)

1980年神奈川県生まれ 東京大学工学部建築学科卒業
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了
石上純也建築設計事務所を経て、2012年萬代基介建築設計事務所代表

「コミュニティメディアとしてのサイネージ」

世界には、魅力的で本当は活用できるのに、見過ごされたオープンスペースがたくさんあります。たとえば外部用の家具として、たとえば遊具として、たとえば共有部の設えとして、デジタルサイネージをコミュニティメディアと捉えて街に配ると、世界はもっと楽しくなります。



中川 エリカ (なかがわ えりか)

1983年東京都生まれ 横浜国立大学建築学部建築学コース卒業
東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了
2011年度JIA新人賞受賞
オンデザインを経て、2014年中川エリカ建築設計事務所代表
横浜国立大学大学院(YGSA)設計助手

「signage cloud」

ふと見上げると頭上に広がっている雲のような、都市の環境を作り出すデジタルサイネージ。情報案内装置として機能するsignage cloudのほか、明日の天気を疑似体験できるtomorrow cloud, 都市の物流量や人の流れを体感できるflow cloud, 追いかけているうちに物語が進行するcinema cloudなどを提案する。



山田 紗子 (やまだ すずこ)

1984年東京都生まれ 慶応義塾大学環境情報学部卒業
University of California, Berkeley在籍
東京藝術大学大学院修了
藤本壮介建築設計事務所勤務時より、自身の設計活動を開始
山田紗子建築設計事務所代表

「Glascene Tower」

プロジェクターで映像を投影できる透明ガラス、グラシーンを外装に使った超高層ビルの提案。斜めに傾いたガラスファサードに対し、移動するエレベーターから映像を投影することで、人の流れとともにダイナミックに移動、拡大するデジタルサイネージを作り出す。



久保 秀朗 (くぼ ひであき)

1982年東京都生まれ 東京大学工学部建築学科卒業
SintLucas Architectuur(ベルギー)留学
東京大学大学院新領域創成科学研究科修了
吉村靖孝建築設計事務所を経て、2011年久保都島建築設計事務所代表

HELLO AGC studio
見て・触って・体感できる
AGC旭硝子 建築用ガラスのショールーム



agcスタジオ

検索

<https://www.agcstudio.jp>

[開館時間]10:00～18:00、10:00～19:00(金曜日)

[休館日]日曜日・月曜日・祝日・年末年始・夏期休暇

東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館1・2階
TEL03-5524-5511

銀座線京橋駅4番出口すぐ
東京駅八重洲南口より徒歩10分
有楽町線銀座一丁目駅より徒歩4分
都営浅草線宝町駅より徒歩3分

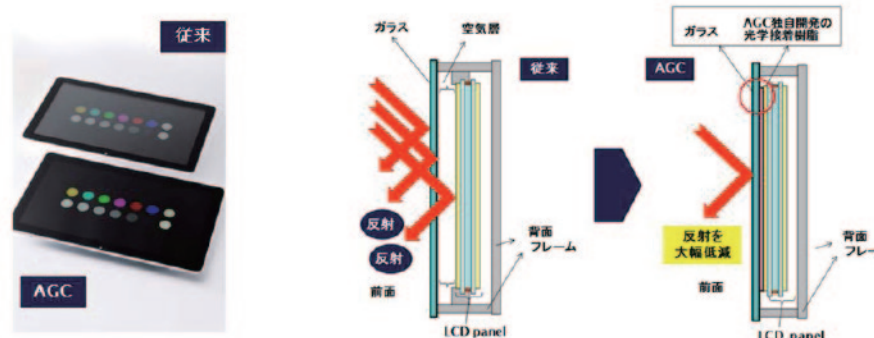
Produced by AGC

<ご参考>

■infoverre®(インフォベール)シリーズとは?

ガラスを情報発信の媒体とする「ガラスサイネージ」のひとつとして開発されたinfoverre。当社の化学品事業で培った光学接合技術により、ガラスに大型ディスプレイモニターを直接貼り付けた製品です。空気層を省くことで視認性を高め、浮かび上がるようなクリアな映像を表示します。また、ディスプレイをガラス接着面で支えているため省スペースが可能に、そして放熱ファンが不要のため低消費電力も実現します。

AGC 独自の液晶直接貼合技術



従来のLCD panelはガラスとガラスの間に空気層があり、反射が繰り返されて映像がぼやけます。AGC独自の光学接着樹脂を用いたinfoverreは空気層を省き、反射を大幅に低減し、クリアな映像を実現します。

今年2月の販売開始以降、商業施設やミラノ国際博覧会(“ミラノ万博”)で採用が進み、窓ガラスだけでなく、テーブルトップ等へと用途の幅も広がっています(下記画像ご参照)。

■infoverre®(インフォベール)シリーズの使用例

「infoverre® WINDOW」



新丸の内ビルディング(東京)の通路に採用されたウィンドウタイプ

「infoverre® TABLETOP」



イタリア・ミラノ万博の展示セクションに採用されているテーブルトップタイプ

「infoverre® MIRROR」



イタリアの2015年ミラノサローネで展示したミラータイプ

■Glascene®とは?

プロジェクタと組み合わせて画像を表示できる透明ガラススクリーン(2015年下期発売予定)

特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■使用していない時は普通のガラス。周辺環境になじみ、空間に広がりを与えます。 ■投影時も透明性を維持。画像を背景と重ねて表示でき、デザイン性がアップします。 ■フロント投射タイプ&リア投射タイプがあり、様々なプロジェクタに対応できます。 ■大面積も対応可。曲面への設置も可能です。 ■従来品比でヘイズ(曇り度)が少なくクリア。鮮明で歪みが少ない映像を提供します。 ■電源が不要。ガラスなのでメンテナンスが容易です。
使用例	商業施設や公共施設内の情報表示、店舗やショールームのガラス面を使用した販促用サイネージ、オフィス向けガラススクリーン兼パーティション、交通機関向けサイネージ(運行案内やホーム柵等)、電車車両内サイネージ、博物館、美術館向けサイネージ等。



映像を投影しない場合は普通のガラス



背景を活かした映像投影が特長です。